

■紀長谷雄 公卿・漢学者・詩人。道真が歎賞し、その失脚で、文名を一身に担うことになった。

きのはせお

・・・・・・・・ 851= 生。今守の弟国守の孫。弾正大忠貞範の子。貞範が長谷寺に祈願して生まれたので、長谷雄と名づけられたともいう。

人民摂政の実 858= 7歳：

・・・・・・・・ 860= 9歳：

・・・・・・・・ 865=14歳：学を志し、

応天門の変・ 866=15歳：

・・・・・・・・ 868=17歳：詩を作ったが、

貞観格成立・ 869=18歳：

指導者がなく、やがて大蔵伊美吉善行の門に入り、  
ようやく名声を得たが、讃言にあい、以後不遇のうちに研讃、

・・・・・・・・ 876=25歳：文章生となり、  
その後、菅原道真の門下に入り、

出羽元慶の乱 878=27歳：

元慶官田・・・ 879=28歳：大極殿再建を祝う祝宴での作詩が認められ、文章得業生となり、

・・・・・・・・ 883=32歳：掌渤海客使、同年、対策に及第した。

・・・・・・・・ 886=35歳：少外記、

宇多天皇即位 887=36歳：

関白始・・・ 888=37歳：従五位下、

基経関白辞任 890=39歳：図書頭、

道真蔵人頭・ 891=40歳：文章博士、

・・・・・・・・ 893=42歳：兼式部少輔、

遣唐使廃止・ 894=43歳：従五位上、兼右少弁、遣唐副使となったが、大使菅原道真の建言で派遣は中止された。

・・・・・・・・ 895=44歳：正五位下・兼右少弁から兼大学頭に転じ、

・・・・・・・・ 896=45歳：雑抱をゆるされ、従四位下。

醍醐天皇・・・ 897=46歳：式部大輔、次いで侍従。\*宇多天皇が譲位の際に「寛平御遺詔」で大器として昇進させるべきとしたが、

時平左大臣・ 899=48歳：右大弁になり兼官もとのごとく、

・・・・・・・・ 900=49歳：左大弁、侍従もとのごとく、

菅原道真左遷 901=50歳：菅原道真失脚後、

莊園整理令始 902=51歳：\*ようやく参議に昇進し、左大弁を兼ねる。道真から配所で作った作品をまとめた「菅家後集」が送られる。

道真没・・・ 903=52歳：従四位上、

古今和歌集・ 905=54歳：

藤原時平とも親交し、醍醐天皇の信頼も厚かったが、時の人三善清行と対立、清行から“無才の博士”といわれるも、自省して争わず、

・・・・・・・・ 908=57歳：正四位下、

・・・・・・・・ 910=59歳：権中納言・従三位に昇進し、左大弁をやめ、東大寺俗別当となった。

・・・・・・・・ 911=60歳：中納言となったが、

・・・・・・・・ 912=61歳：没した。

「日本詩紀」に44首、「和漢兼作集」に8首、「紀家集」に1首の詩、「本朝文粹」に29篇、「紀家集」に7篇、「本朝文集」に2篇の散文と「後撰和歌集」に4首、「和漢兼作集」に1首の和歌などが残っている。